



秋の味覚 ホクホクしたやきいも「おいしいよ！」～ひろお幼稚園（10月22日 撮影）



ひろお

議会だより

No 188

2018年12月1日発行

つくる、つなぐ。広尾町



Anniversary

平成30年は
広尾町150年

【平成30年第3回定例会】

私たちの税金 どう使われたか 平成29年度決算

2

大規模停電が発生 北海道胆振東部地震

6

一般質問（4人が登壇）

10

／昆布干場／障がい者雇用／港湾道路の壁画

総務常任委員会 **ごみ処理施設はどうか？**

14

○発行・編集／ 広尾町議会・議会広報特別委員会 E-mail g-gikai@town.hiroo.lg.jp

〒089-2692 北海道広尾郡広尾町西4条7丁目 TEL 01558-2-0180（議会直通） FAX 01558-2-2114

どう使われたか



平成30年 第3回 定例会

9/6~14

一般会計収入（歳入）合計 75億4993万円

自主財源	町税	9億3724万9497円 (12.4%)	
	分担金・負担金	2億2988万9171円 (3.0%)	
	使用料・手数料	2億1523万4562円 (2.9%)	
	その他収入	8億3855万5866円 (11.1%)	
依存財源	地方交付税	35億2635万9000円 (46.7%)	
	国庫支出金 (国からもらうお金)	4億5026万4012円 (6.0%)	
	道支出金 (北海道からもらうお金)	3億5545万3809円 (4.7%)	
	地方譲与税・交付金等	3億2018万8667円 (4.2%)	
	町債 (借金)	6億7673万9000円 (9.0%)	

平成30年第3回定例会は、9月6日（木）から14日（金）までの9日間の会期で開かれました。平成29年度決算認定（一般会計ほか9会計）のほか、条例の廃止、平成30年度補正予算などが提案され、本会議・委員会での審議の結果、全議案を原案のとおり可決しました。

※議案審議結果は9ページに掲載

町民1人あたりに 使われたお金

（一般会計）

約108万円

※特別会計等を含めると

約165万円

（注）3月末現在の住民基本台帳
人口6,875人で計算したもの

平成29年度各会計収支（歳入・歳出）一覧

会計名	収入（歳入）	支出（歳出）
一般会計	75億4993万3584円	73億9082万9693円
港湾管理特別会計	1億2282万1572円	1億2172万2909円
簡易水道事業特別会計	7156万6957円	6833万9062円
下水道事業特別会計	4億6678万1244円	4億6459万6344円
国民健康保険事業勘定特別会計	11億2184万94円	11億1784万148円
介護保険特別会計	6億8944万5612円	6億6043万6037円
介護サービス事業特別会計	2億4728万3008円	2億4661万1072円
後期高齢者医療特別会計	1億780万8058円	1億701万9123円
国民健康保険病院事業会計	収益的収支※1	8億4346万9115円
	資本的収支※2	1億2696万9879円
水道事業会計	収益的収支※1	1億4531万7046円
	資本的収支※2	0円

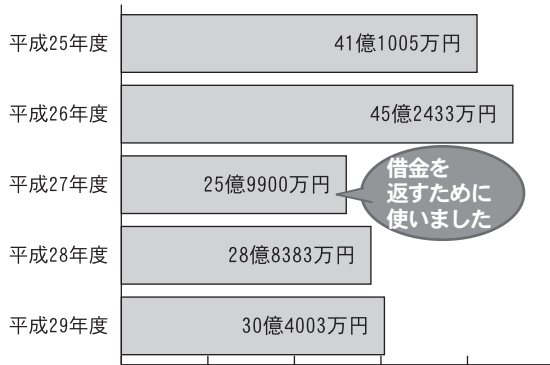
※1 収益的収支～事業活動に伴い、発生が予定されるすべての収入と支出

※2 資本的収支～将来に備えて行う建設改良や、建設改良に要した借金の返済金などの収入と支出

※3 収支の不足分は、留保資金などでカバー（補てん）

※3

貯金（基金）残高の推移



借金（町債）残高の推移（全会計）



数字で見た広尾町の財政力（平成29年度）

項目	H29	H28
財政力指数 高いほど、毎年必要なお金を自力で調達できる。	0.221	0.212
経常収支比率 高いほど、自由に使えるお金が少なくなる。町村では75%以下が適正とされている。	86.5%	85.1%
実質公債費比率 高いほど、収入の多くを借金の返済に使うことになる。25%を超えると借金を制限される。	9.4%	7.9%
将来負担比率 高いほど、将来の財政が圧迫される可能性が大きい。	79.2%	93.4%

平成29年度決算審査

私たちの税金

一般会計支出（歳出）合計 73億9082万円

議会費	8431万1660円 (1.1%)
総務費	7億456万5651円 (9.5%)
民生費	15億8306万7861円 (21.4%)
衛生費	8億6766万2795円 (11.7%)
農林水産業費	5億1720万4690円 (7.0%)
商工費	3億4386万677円 (4.7%)
土木費	10億6799万288円 (14.5%)
消防費	2億7732万3945円 (3.8%)
教育費	7億4420万8022円 (10.1%)
災害復旧費	6710万6252円 (0.9%)
公債費（借金返済）	11億3352万7852円 (15.3%)

一般会計ほか9会計の平成29年度決算認定について、決算審査特別委員会（北藤利通委員長）を設置し、9月12日、13日の2日間審査した結果、すべての会計を「認定すべきもの」と決定しました。その後、9月14日の本会議で討論・採決の結果、全会計の決算が認定されました。

※一般会計・後期高齢者医療特別会計は起立による採決を行いました。（賛否の内訳はP9）

【一般会計決算の概要】

収入（歳入）合計額は75億4993万円（前年度比14・1%減）、支出（歳出）合計額は73億9082万円（前年度比13・8%減）となりました。

収

入の46・7%を占める地方交付税は35億2635万円となりました。（前年度比1億8195万円の減）

町

税収入は前年度比2・1%減の9億3724万円となりました。徴収率は91・9%（昨年度92・0%）で、8098万円が未納となっています。

貯

金（基金）残高は合計で前年度比5・4%増の30億4003万円となりました。

借

金（町債）残高は合計で161億7263万円となり、前年度比3・7%の減となりました。



次のページは「決算審査特別委員会」

づくりの成果は？

決算審査 特別委員会 9/10,12,13

委員長 北藤利通
副委員長 小田英勝

平成29年度決算についての質疑内容を抜粋、要約してお知らせします。

一般会計

子ども農山漁村交流

問 広尾町ホームステイ受入協議会交付金512万円の内訳は。

答 受け入れた子ども達(56人)と受入協議会の事後交流等にかかる旅費である。

問 企業版ふるさと納税を財源としているが、他の自治体では学習塾の建設など、町民生活に直結した事業を実施している。本町もそうすべきでは。

答 この事業は、ホームステイをきっかけに産業振興及び地域活性化につなげる地方創生を目的としており、将来の広尾町のために実施している。



平成23年から広尾小学校の登下校のため増便

十勝バス「広尾線」

問 平均乗車密度は。

答 4.2人(前年度比0.2人減)。

問 補助金の町負担額が増加している。重要な交通手段であるが、今後の見通しは。

答 今後のあり方について、北海道も交えて沿線自治体で協議している。

一般会計の時間外勤務、総時間数は、

答 1万4051時間。(1人平均148時間)

マイナンバー

問 個人番号カードの交付状況は。

答 申請675件、交付543件。人口に対する交付率は7.6%(3月末現在)

移住体験住宅

問 過去10年間、体験住宅利用者で実際に移住された方はゼロだが、29年度の実績は。また、移住相談等はあるのか。

答 29年度も移住者はゼロであった。相談は10件ほどあるが、移住には結びついていない。

集会所管理

問 町内会等に委託しているが、委託料はどのように算出しているのか。

答 町内会等に委託しているが、委託料はどのように算出しているのか。

交通安全

問 成果として「交通事故防止が図られた」となっているが、道路標識が不十分な場所が見受けられるが。

答 29年度は通学路を中心に標識を整備した。今後も関係部署と連携し、点検等を行っていく。

災害用備蓄品

問 収支決算報告等の実績により、算定している。今後、水道料金値上げ等の影響について確認していく。

答 軽くて暖かいと言われている段ボールベッドの購入は検討したのか。

問 災害発生時に支援物資が届くまでの必要不可欠な食料などを北海道からの交付金も活用しながら整備しており、29年度は新たに簡易トイレセット等を購入した。今後、段ボールベッドについては検討したい。

答 災害発生時に支援物資が届くまでの必要不可欠な食料などを北海道からの交付金も活用しながら整備しており、29年度は新たに簡易トイレセット等を購入した。今後、段ボールベッドについては検討したい。

コミュニティソーシャルワーカー

問 地域課題の早期発見・早期解決を図るための体制整備を目的に事業を開始し2年経過したが、実績は。

答 町民が自由に集まり過ごす場としてサロンを4か所開設し、公



もしものためにご家庭でも備えを

1年間のまち



品揃え豊富なサンタグッズ

老人福祉センター

問 駐車場や花壇などの施設の管理はどのように行っているのか。

答 町が管理する施設については、現場を確

認しながら維持補修に努めている。危険性があるものについては、早急に対応している。

問 公衆浴場の大人料金での利用者が減少している理由は、

答 大人料金で利用していた方が老人クラブ

加入や高齢者（70歳以上）の利用料金となったため。

成年後見制度

問 相談から実際に制度利用となった方はい

るのか。

答 社会福祉協議会に委託し運営している成年後見あんしんセンター

に16件の相談があったが、利用に結びついた方はいない。

公園緑地管理

問 公園の草刈りを町内会がボランティアで行っている。町が管理すべきではないか。

答 町が草刈り等を行っている公園もあるが、ほとんどが町内会にお願いしている。今後、検討したい。

「当地区」レシピ集

問 500組増刷し、配布が112組となっている。増刷部数が多い

のでは。

答 レシピ集は、毎年新しく考案されたレシピのページを追加していく仕組みとなっているため、次年度以降も活用する目的で500組増刷した。

北方圏交流振興会

問 サンタメールの発送数が毎年1万8000通前後であり、赤字経営となっているのでは

答 採算ラインが2万通であり、メール事業だけでは赤字となっているが、サンタの家で販売しているグッズ収益等で補っている。

事業展開を工夫しており、数年は様子を見ながら実施していきたい。

学校図書

問 10分間読書用の図書購入費が小学校は2校で22万円だが、中学校は1校で2万円と差が大きい。その理由は、

答 中学校は要望がなく、購入が少なかった。

教育において読書環境は大変重要であり、今後しっかりと指導していく。

町民プール

問 音調津プールの利用が1日平均1人未満となっているが、今後も運営していくのか。

答 平成30年度より休止している。

保険料の軽減

問 前年度と比較して軽減総額が376万円減っているが、その分住民負担が増えたのか。

答 特例軽減の見直しが行われたため総額が減っているが、激変緩和措置が講じられるなど、低所得者には配慮されている。

討論

後期高齢者医療特別会計

反対

旗手恵子委員

賛成

浜野 隆委員

平成28・29年度の保険料として決定されたものを特例軽減の見直しとはいえ、計画年度の途中で被保険者に追加負担を求めるのは違約行為と考える。また、低所得者の問題が改善されていない中で、特例軽減を減額する根拠も道理もない。

この制度を運営する広域連合に加入している広尾町として予算執行は必要な経費であり、適正な会計運営がなされていることから、本決算認定に賛成する。

よって、本決算認定に反対する。



次のページは「第3回定例会」

平成30年
第3回
定例会
9/6~14

北海道胆振東部地震 大規模停電が発生

町内全域の復旧まで2日間

その時何が起こったのか

～時系列で見る地震発生から避難所閉鎖まで～

9月6日

午前 3時7分 胆振地方中東部を震源地とする地震が発生
津波の恐れはなし
3時8分 苫東厚真火力発電所2号機と4号機が停止
3時25分 苫東厚真火力発電所1号機が停止
北海道内全域（約295万戸）で大規模停電となる
5時45分 停電発生時の放送
6時00分 保育所・幼稚園・小中高校臨時休校の放送
6時22分 地震の基本情報と余震の注意喚起の放送
午後 1時00分 今後の対応及び避難所開設に関する庁内対策会議
3時05分 避難所開設の放送
4時00分 町内4か所で避難所開設
(コミセン、音調津集会所、野塚公民館、
農村環境改善センター)

9月7日

午前 1時20分 広尾市街（一部）・音調津地区で停電復旧
5時15分 コミセン避難所閉鎖
7時00分 音調津集会所避難所閉鎖
午後 2時10分 電話回線不通の放送
11時58分 野塚・豊似地区で停電復旧

9月8日

午前 0時45分 農村環境改善センター避難所閉鎖
1時00分 港湾地区復旧により広尾町全域で停電復旧
6時00分 野塚公民館避難所閉鎖

※「放送」は、防災無線での放送です。

9月6日に発生した「平成30年北海道胆振東部地震」は北海道初の最大震度7を観測し、家屋の倒壊や震源地付近では土砂崩れなどにより41人もの尊い命が失われました。

この地震により北海道電力株式会社火力発電所が緊急停止したことから、北海道内全域で大規模な停電となり、一部地域では断水も発生しました。

広尾町では震度3を観測。地震による被害は少なく、断水も起こりませんでした。停電が復旧するまでに町内全域では約2日かかり、町民生活に大きな支障が出ました。農業では、6～7日の2日間で生乳約320トンを廃棄され、3000万円以上の損失となり、漁業では、6日の市場を閉鎖し操業を停止するなど、産業にも多大な影響が出ました。

公共交通機関も停電により運休となりましたが、十勝バス、JR北海道バスは8日から、高速バスサンタ号は9日から運行を再開しました。

【2日間の避難者数】

避難所	6日	7日	計
コミュニティセンター	45	—	45
音調津集会所	20	—	20
野塚公民館	10	13	23
農村環境改善センター	9	30	39
計	84	43	127

また、町内4か所に避難所を開設し、延べ127名が避難した。 ※各避難所の内訳は表のとおり。

行政報告

停電の対応

町立病院・特別養護老人ホーム・養護老人ホームの電源を非常用発電機により優先的に確保し、ひとり暮らしの高齢者などへは家庭訪問や電話連絡により状況把握に努めた。

被災町へ職員派遣

被害が大きかった厚真町、安平町、むかわ町から北海道を通じて職員の派遣要請があり、9月15日から5日間、町職員3名を安平町へ派遣することを決定した。

地震災害に伴う一般会計・国保病院事業会計・水道事業会計補正予算が追加提案され、可決されました。



三次派遣（町職員2名）
10/13～17、厚真町へ派遣

平成29年度決算を認定

討論（一般会計歳入歳出決算）

反対
住民福祉の向上を

前崎 茂議員

賛成
財政健全化へ努力

浜野 隆議員

地方経済が停滞している中で、社会的弱者である高齢者や障がい者、低所得者の生活を支え、住民福祉の向上を図る必要があるが、町の財政状況から必要な事業が先送りされるなど、町民生活を圧迫している。よって、本決算認定に反対する。

反対
事業の見直しを

小田雅二議員

まちづくり計画及び総合戦略の数値目標が達成されていない状況にある。また、子ども農山漁村交流事業は大変有意義な事業だが、だからこそ広尾の子ども達にも同じような事業を行うべきであり、本決算認定に反対する。

子ども達が安心して学べる環境づくりや広尾高校の存続対策に取り組み、また、産業振興への継続支援などによる活力あるまちづくりや地域福祉、子育て支援などによる町民が安心して暮らせるまちづくりに努めた内容であった。各種財政指標や地方債、基金の状況等を見ても、健全化への努力が認められるものであり、本決算認定に賛成する。

《一般会計採決結果》

賛成 9 反対 3 認定

平成30年度 補正予算の内訳

一般会計 ④、⑤	77億4420万円	1億6816万円	↑
港湾管理特別会計 ②	1億1009万円	109万円	↑
簡易水道事業特別会計 ②	6960万円	41万円	↑
下水道事業特別会計 ②	4億139万円	327万円	↓
国保事業勘定特別会計 ②	10億5866万円	1976万円	↑
介護保険特別会計 ②	6億9712万円	2463万円	↑
介護サービス事業特別会計 ②	2億8021万円	2万円	↑
後期高齢者医療特別会計 ①	1億1590万円	※増減なし	
国保病院事業会計 ②、③			
収益的収入・支出	8億6498万円	7万円	↑
資本的収入・支出	1億9012万円	426万円	↑
水道事業会計 ②、③			
収益的収入	1億6644万円	52万円	↑
収益的支出	1億7956万円	16万円	↑

※会計名の後の丸数字は補正回数

(1万円未満切り捨て)

議会情報

地震発生の日は第3回定例会の初日でしたが、停電の影響で議場が使用できず、議員控室で開会しました。当初予定していた議案審議等は行わず、村瀬町長から停電に関する行政報告のみを行い、初日を終わりました。停電の復旧を待ち、10日から再開しました。



菅原教育長の任命に同意

10月8日に任期満了となる菅原博教育長の後任に、菅原康博議会議事局長を任命することに同意しました。
※任期は10月9日からの3年間。
就任あいさつ
本町の教育発展のため、浅学非才ではありますが、最善の努力をし、職責を果たしていきたいと考えております。

その他決まったこと

- ◎広尾線鉄道記念館を老朽化により解体撤去したことから、関係条例を廃止しました。
- ◎任期満了による教育委員の任命、固定資産評価審査委員の選任に同意しました。
教育委員
武藤敏広さん（再任）
任期：平成30年10月12日から4年間
固定資産評価審査委員
齊藤政明さん（再任）
任期：平成30年10月25日から3年間
大林勝則さん（新任）
任期：平成30年11月1日から3年間
- ◎任期満了による人権擁護委員候補者の推薦を「適任」としました。
坂本和子さん（新任）



次のページは「意見書・行政報告・議案賛否・議員の出入」

地域から高校を無くさないで

意見書3件を可決し、国等へ提出

※内容は要約しています。

① 「これからの高校づくりに関する指針」を抜本的に見直し、すべての子どもに豊かな学びを保障する高校教育を求める意見書

提出者 北藤利通議員

北海道教育委員会は今年3月に「これからの高校づくりに関する指針（以下「新指針」）を公表した。

平成18年に策定した「新たな高校教育に関する指針」により、過去10年間で道内公立高校は42校が閉校、公立高校のない市町村は50へと増加し、地元から高校が無くなった子ども・保護者の心身の・経済的負担が増加するとともに、過疎化が進み地域経済にも影響を及ぼしているなどの実態を新指針は全く踏まえていない。

よって、広大な北海道の実情にそぐわない「新指針」を撤回もしくは抜本的に見直し、地域に高校を存続させ、希望するすべての子どもに豊かな後期中等教育を保障することなどを求める。

② 介護保険制度の抜本的改革を求める意見書

提出者 旗手恵子議員

平成12年にスタートした介護保険制度は、社会保障費削減路線のもと制度改正が繰り返された結果、サービスを減らす利用者が生まれたり、度重なる値上げによって保険料が払えず滞納処分を受けた高齢者が1万6000人を超えるなど、深刻な実態が浮き彫りになっている。

また、介護報酬の引き下げにより事業所が撤退し、介護現場は人手不足が常態化している。必要な介護が保障される持続可能な制度へと抜本的に改革するため、①国による保険料・利用料減免制度の創設 ②国庫負担の10%引き上げ、③繰り返されてきたサービスマシンの報酬改定を見直すことなどを強く求める。

③ 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実を求める意見書

提出者 浜頭 勝議員

北海道の森林が持つ多面的機能を発揮させ、森林資源の循環利用を進めることは、雇用・所得の拡大による地方創生にも大きく貢献する。

今後、既存の制度や平成31年に創設が予定される森林環境税（仮称）などを活用した森林整備の推進が必要であり、次のことを強く要望する。
①森林整備・治山事業の財源確保
②森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組み及び林業事業体や人材の育成に必要な支援措置の充実・強化



地域の衰退につながる高校の統廃合

提出先

北海道知事・北海道教育委員会教育長～①、衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣～②、厚生労働大臣～②、文部科学大臣・農林水産大臣・経済産業大臣・国土交通大臣・環境大臣・復興大臣～③

行政報告

村瀬町長からの



※内容は要約しています。

普通交付税の決定

平成30年度の普通交付税決定額は、31億1949万1000円となり、前年度と比べて1億448万4000円、3.2%の減となった。

150年記念 特別功労者表彰

毎年、町の発展振興に寄与された方を開町記念式典時（9月20日）に表彰しているが、今年は広尾町150年の記念の年であるため、各功労賞を受けた後も、引き続き各分野において永年にわたるご尽力いただいた方を

医療法人社団慈弘会 森クリニクへの 財政支援

対象に「特別功労者」として表彰することを決定した。 ※被表彰者70人（自治功労9人、社会功労46人、産業功労9人、教育功労6人）

南十勝の透析医療を担う森クリニクに対し、人工透析機器の更新費用2分の1を南十勝5町村（幕別町忠類地区含む）で助成する。

南十勝5町村の負担額合計が3198万9000円、うち広尾町の負担分が1119万6000円（35%）となった。

火災の発生

7月6日、広尾市街地で建物火災が発生し、消防職員、団員合わせて36人が出動した。

平成30年 第3回定例会 議案審議結果

●賛否のあった議案（議案名は一部省略しています）

賛成：○ 反対：× 欠：欠席

議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議決結果
	浜野隆	萬亀山ち子	北藤利通	前崎茂	志村國昭	山谷照夫	星加廣保	渡辺富久馬	小田英勝	小田雅二	旗手恵子	浜頭勝	堀田成郎	
平成29年度一般会計決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	-	認定(9-3)
平成29年度後期高齢者医療特別会計決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	-	認定(9-3)

※全会一致した議案の掲載は省略しています。

※堀田議員は議長のため、採決には加わりません。

議員の会議等出欠状況をお知らせします

(平成30年6月定例会終了後～平成30年9月定例会まで)

(1) 定例会・臨時会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	浜野隆	萬亀山ち子	北藤利通	前崎茂	志村國昭	山谷照夫	星加廣保	渡辺富久馬	小田英勝	小田雅二	旗手恵子	浜頭勝	堀田成郎
9/6	第3回定例会（行政報告）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/10	第3回定例会（補正予算など）		○	○	○	○	○	○	早	○	○	○	○	○	○
9/11	第3回定例会（一般質問）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/14	第3回定例会（決算認定、意見書など）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
開催日数計	4日	出席日数計	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

(2) 委員会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 -：所屬外

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	浜野隆	萬亀山ち子	北藤利通	前崎茂	志村國昭	山谷照夫	星加廣保	渡辺富久馬	小田英勝	小田雅二	旗手恵子	浜頭勝	堀田成郎
8/9	第3回総務常任委員会		○	-	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-	○
8/9	議会広報編集会議		○	-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	-	-
8/16	第4回議会広報特別委員会		○	-	-	○	○	-	×	○	-	○	-	-	×
8/21	第3回産業常任委員会		-	○	-	-	-	○	-	-	○	○	○	○	○
9/3	第7回議会運営委員会		-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	-	○	○
9/10	決算審査特別委員会（正副委員長互選）		○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-
9/11	国保病院のあり方に関する調査特別委員会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/12	決算審査特別委員会		○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	-
9/13	決算審査特別委員会		○	○	○	○	-	○	○	○	○	早	○	○	-
9/13	第8回議会運営委員会		-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	-	○	○
9/14	議会広報編集会議		○	-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	-	-

※堀田議員は議長のため、各委員会に所属していませんが、オブザーバーとして出席しています。
※決算審査特別委員会は議長、議選監査委員を除く議員で構成されています。

(3) 議員協議会・研修・その他

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 -：対象外

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	浜野隆	萬亀山ち子	北藤利通	前崎茂	志村國昭	山谷照夫	星加廣保	渡辺富久馬	小田英勝	小田雅二	旗手恵子	浜頭勝	堀田成郎
7/3~4	全道議員研修会（札幌市）		×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○
7/23	議会モニター会議（2班）		-	○	○	○	-	-	-	○	○	-	-	○	○
8/21~22	議会広報研修会（札幌市）		×	-	-	○	○	-	×	×	-	○	-	-	-
9/11	第5回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ズバリ 町政を問う 一般質問

一般質問とは・・・

議員が定例議会で町長など執行機関の考え方について、報告や説明を求めたり、疑問をたずねることで、

広尾町議会では1回目は一括質問方式、2回目以降は一問一答方式となっています。

※議会だよりでは、内容を要約して掲載しています。

9月定例会では、
4人の議員が一般質問を行いました。



広尾サンタランドマスコットキャラクター「さーたちん」

●一般質問 項目一覧

前崎 茂議員	昆布干場に簡易トイレの設置を	P10
	防犯カメラ設置にガイドラインを	P11
旗手恵子議員	障がい者の雇用促進を図れ	
	いざという時に使えない介護保険制度では困る!	P12

小田雅二議員	停電時の情報伝達 どう確保?	P12
渡辺富久馬議員	どうする? 港湾道路の壁画	P13
	記念碑や像を集約する考えは	

※小田雅二議員から「広尾町の経済的活性化について」を質問する通告がありました。当日取り下げられました。

質問 本町の昆布漁は、着業者数が124戸、平成26・27年と生産高が約2億円となり、沿岸漁業を支えている。昆布干しに従事する方は、朝5時過ぎから昆布の干せあがる午後3時頃まで作業を継続する。その間、トイレを設置していない所では、車で自宅や市街地の公衆トイレに行ったり、車を所有していない高齢者などは付近の空き地を利用して、産業振興及び食の安全・安心の生産現場における衛生面などから、町所有の昆布干場付近に簡易トイレを設置すべきでは。



まえざき 前崎 茂 議員

昆布干場に
簡易トイレの設置を

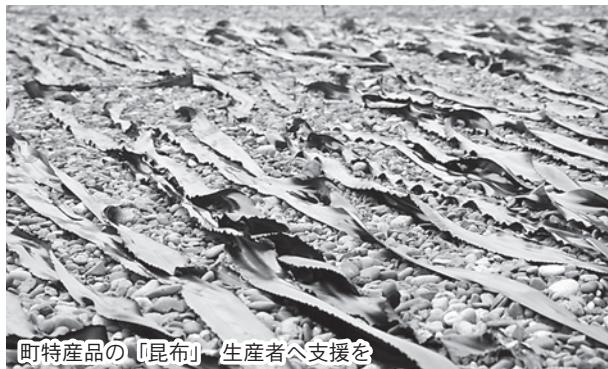
町長 漁業者自ら
対応してもらいたい

答弁 村瀬町長

海産(昆布)干場は、町が干場をつくり、条例に基づいて漁業協同組合と貸付契約を結び、昆布漁業者に貸し付けて運用している。えることは、漁業者が自主的に行っていたり、きものと考えている。

協働のまちづくりを進める中で、行政と民間事業者、町民が果たすべきそれぞれの役割をしっかりと分擔することが重要であり、そうしなければ町行政は立ち行かなくなる。

漁業者からの要望を受け、干場付近の道路については防塵対策などの整備を行ってきたが、働く環境を整



町特産品の「昆布」生産者へ支援を

防犯カメラ設置にガイドラインを

町長 今後、要綱を定めて対応していく



質問

本町は、広尾警察署と「防犯カメラ運用に関する協定書」

を締結しているが、管理や運用に関する規定は制定されていない。

帯広市の防犯カメラ設置・運用に関するガイドラインでは、市民のプライバシーを保護すると定め、兵庫県宝塚市は防犯カメラの画像の提供について、改正組織犯罪処罰法の運用は、個人の権利や利益の保護の必要から画像は裁判所の令状に限るとしている。

防犯カメラの設置及び運用に関する規定を制定すべきではないか。

答弁

村瀬町長

犯罪のない安全で安心して暮らせる町を目指し、防犯カメラを平成29年度に広尾小学校付近に1基、今年8月にひろお保育園付近に1基設置している。住民のプライバシーを

保護する観点から、個人情報保護条例に基づき、広尾警察署と協定書を結び運用している。

情報の提供先が限定されると思われたため、協定書の中で閲覧や提供、保存する場合、秘密の保持などの事項を定めているが、今後、個人情報保護の適正な取り扱いを確保すべく、詳細な事項については要綱で定めたい。



はたて 旗手恵子 議員

質問

障害者雇用促進法で、働く人のうち一定割合以上を障がい者とするのが義務付けられており、法定雇用率は国・地方自治体等は2.5%である。

中央省庁の障がい者雇用に関わる水増し問題が明らかになり、報道によると十勝管内は不正な雇用率算入はなかつたが、本町を含む12市町村で法定雇用率を満たしていない。

本町での障がい者雇用はどのような方法で確認し、実態はどうなっているのか。

法定雇用率は、2021年4月までに0.1ポイント引き上げられるが、働きやすい環境を作り、雇用促進を図るべきでは。

障がい者の雇用促進を図れ

町長

総合的に判断し、職員採用に努める

答弁

村瀬町長

本町の障害者雇用率は、6月1日現在で1.92%であり、法定雇用率を下回っている。

職員の採用については、十勝町村会の試験を経て、本町における最終試験で決定しており、障がい等の確認は障害者手帳、療育手帳で行っている。

近年、本町を受験する障がいのある方がいなかったところである。

来年度についても職員の採用を予定しており、障がいのある方が受験された際には、総合的に判断し障がい者雇用の促進に努めたい。

障害者雇用率って？

$$\text{障害者雇用率} = \frac{\text{対象障がい者である常用労働者数}}{\text{常用労働者数}}$$

法定雇用率

民間企業	2.2%
国、地方公共団体等	2.5%
都道府県等の教育委員会	2.4%

- ◎身体・知的・精神障がい者（手帳の交付を受けていること）が対象
- ◎短時間労働者は、原則1人を0.5人としてカウント
- ◎重度身体・知的障がい者は1人を2人としてカウント（短時間労働の場合は1人としてカウント）



次のページも「一般質問」
『介護保険・停電・壁画・記念碑』

いざという時に使えない 介護保険制度では困る！

町長

法令を遵守し、
適正な制度の運営に努める

質問

利用料の2割負担
実施後に本町

も利用抑制、施設退所者が
いたが、お金がか心配で
必要なサービスを諦める
人が出ているのではない
か。8月から3割負担が
導入されたが、負担が増
える人数は。

保険者機能の強化は、
介護認定を受ける人を抑
制し、サービス利用を抑
え給付費を減らすことに
市町村を駆り立てること
になるのではないか。
介護保険料を負担しな
がら、いざという時に使
えない制度では困る。高
齢者の尊厳と権利を守る
介護保険運営をすべきと
思うが。

答弁 村瀬町長

本町の3割負担該当者
は4人だが、利用抑制、
施設退所となった方は現
時点でいない。

保険者機能の強化は、
地域包括ケアシステムの
構築を目的に、高齢者の
自立支援、重度化予防に
向けた取り組みの推進を
強化するものであり、サー
ビス等を抑制するもので
はない。

これまでも利用者の状
態に応じた適切なサービ
スの提供に努めてきたが、
今後も引き続き法令を遵
守し、住み慣れた本町で
自分らしい暮らしを送れ
るよう、高齢者の選択と
意思決定を尊重した介護
保険制度の運営を図って
いきたい。

介護サービス 利用者負担の割合判定				負担割合		
本人の 合計所得 金額が	220万円 以上	同じ世帯に 65歳以上の方 (本人含む)が	1人	年金 収入等が	340万円以上	3割
			2人以上		合計463万円以上	
	160万円～ 220万円 未満		1人	280万円以上	2割	
			2人以上			合計346万円以上
○上記に該当しない65歳以上の方			○町民税非課税の方		○40歳～64歳の方	
					1割	

停電時の情報伝達 どう確保？

町長 環境整備も含め、早急に手立てを検討する



時の速やかな情
報提供を求める
必要があり、今
回の対応につい
て総括し、Wi-
Fi環境の整備も
含め、早急に手
立てを検討した
い。
しっかりと課
題を整理し、教
訓など、町民周
知の対応を図っ
ていく。



おだ 小田雅二 議員

質問

胆振東部地震に
よる長時間の停
電で生乳生産をはじめ各
分野で経済的損失があつ
た。また、電話やインター
ネットの不通もあり、大
変不便な状況が続いた。

町としても、避難所の
開設や各種情報の伝達な
どの対応に終始したと思
うが、以前の強風による
停電の経験もあり、引き
続きさまざまな検討課題
や教訓を得ていると思う。
これらの総括的な報告な
どを町広報で町民へ周知
する必要があるので。

答弁 村瀬町長

また、行政によるWi-
Fi環境の整備も検討すべ
きと思うが。

地震による停電が長引
く中、復旧の見通しにつ
いては最後まで北海道電
力株式会社からの情報が
得られず、町民周知がで
きなかったところである。
また、電話等の通信障
害についても、NTT以
外の会社からは一切情報
提供がなかった。

今後、関係各社に災害
時の速やかな情
報提供を求める
必要があり、今
回の対応につい
て総括し、Wi-
Fi環境の整備も
含め、早急に手
立てを検討した
い。
しっかりと課
題を整理し、教
訓など、町民周
知の対応を図っ
ていく。



わたなべ 渡辺富久馬 議員

どうなるか？

港灣道路の壁画

町長 当面は現状のまま
検討を続けていく

質問 港灣道路（臨港道路十勝港線）

の壁画は、昭和60年に完成し、平成8年にはフェリー就航とともに十勝管内市町村、日高3町の協力で十勝の玄関口として夢と期待を背負って修復、描かれたものだが、平成11年のフェリー撤退で壁画だけが残り、時を経て今は色褪せて汚れが目立っている。

作成時には、各方面の熱い思いと経済的支援を得てきたことを思うと心が痛む。
今後、どのような対応を考えているのか。

答弁 村瀬町長

壁画の修復には、多額の費用がかかる。十勝港には、老朽化により更新していかねばならない道路転落防止柵や防眩材などがあり、国からの交付金を財源として計画的に行う予定としている。

国の補助対象とならない事業については、町の財政状況から多額の財源確保が難しく、協力いただいた各市町村や関係団体には大変申し訳ないが、壁画については当分の間は現状のまま



わたなべ 渡辺富久馬 議員

記念碑や像を集約する考えは

町長 今後、移設等を含めて協議していきたい

質問 町内にある記念碑や像が、時代の変遷とともに作られた時の状況から変わってきている。

旧広尾小学校の石碑や親子像、シーサイドパークの母子像、旧水族館前のカモメのブロンズ像など、草深い場所に放置されたままとなっている。

これらの石碑や像は、設置した先人達の強い思いや願いがあったものと思う。

もちろん移設するにしても相当の費用がかかるのは承知しているが、ただ朽ち果てるのを待つのではなく、適切な場所に集約すべきでは。

町内に点在する記念碑

答弁 村瀬町長

記念碑や像は、それぞれが設置した経緯が違い、構造や老朽化などによって状態も異なるため、同じ方法での対応は難しいと考えている。

シーサイドパークと旧水族館前にある像については、博物館に移設するのがふさわしいと考えるが、安全性などを見極め、寄贈者の意向も確認しながら、移設等を含めて今後協議していきたい。

答弁 笹原教育長

旧広尾小学校にある石碑等は、統合した現広尾小学校に移設するのがふさわしいと考えるが、町部局、関係者と費用も含め協議していきたい。



次のページは「常任委員会」

考えた!



総務常任委員会

委員長 北藤利通 副委員長 前崎 茂

調査日 平成30年8月9日

ごみ処理施設は どうなる？

南十勝環境衛生センターの今後

南十勝複合事務組合（広尾町、大樹町、幕別町で構成・以下「組合」）が運営する「南十勝環境衛生センター」は、平成5年に竣工し今年度で25年を経過するが、年間約4000万円の整備費や機器の経年劣化による維持管理が課題となっている。一般的なごみ処理施設の耐用年数が稼働後25年とされていることから、今後の運営等について検討しなければならない。

検討の経過

十勝圏複合事務組合が、くりりんセンター（以下「センター」）を新設し平成38年度に供用開始する方針を固め、構成市町村を今年度末までに決定させるとしたことを受け、組合はセンターとの共同処理も視野に負担額や収集体制等、比較検討を行った。組合構成3町で新施設を建設する（早

期に建設、もしくは延命化を行い将来的に建設）、センターとの共同処理へ移行する（センターへの搬入方法を各町が直接搬入する、もしくは中継施設に集めてから搬入する）などのケースを検討し、新施設建設よりも広域共同処理が有利との結論となった。

今後の予定

組合構成3町それぞれが方針を決定し、その後組合としてどうするかかの協議が行われる。



平成29年度
構成3町からのごみ受入量 5076トシ

養護老人ホーム・ 特別養護老人ホーム 現状は

広尾町の方針

9月11日開催の第5回議員協議会で村瀬町長は「くりりんセンターが稼働する時期に合わせて共同処理へ移行し、各町から中継施設（現施設）に集め運搬する方法としたい」との方針を示しました。
くりりんセンターへは燃えるごみのみを搬入し、不燃・資源ごみについては現施設で処理する方針です。
南十勝複合事務組合での決定は、平成31年2月頃に予定されています。

【養護老人ホーム】

昭和39年6月1日に開設し、平成11年度に現在の場所へ移転改築された。高齢者の自立した生活支援を基本としているが、近年は介護認定を受け介護サービスを利用する入所者が増えつつある。

職員は、嘱託医師1人、正職員は所長以下7人、臨時職員が18人の計26人となっている。

【特別養護老人ホーム】

昭和56年8月3日に開設し、平成6年4月から短期入所生活介護（定員10人）の併設運営も行っている。

介護状態が重度化した入所者が増加したため、平成26年度から「看取り介護」を実施している。

職員は、嘱託医師1人、正職員は所長以下16人、臨時職員が25人の計42人となっている。

各施設では、さまざまな行事で入所者を和ませしており、合同で開催する行事も多い。

産業常任委員会

委員長 小田英勝 副委員長 山谷照夫

調査日 平成30年8月21日

ウニ、サケ、マツカワなど

増養殖事業の取り組み

現地視察を実施

4月に採苗を行い11月に種苗放流していたが、平成28年度からは資源のさらなる安定化を図るため、翌年の4月まで飼育し放流している。海水温が上昇する時期に放流することで生存率が向上するため、放流時の初期減耗防止策となっている。また、放流した種苗の成長やウニのエサとなることで影響を受ける海藻類の繁茂状態などを確認するためのダイバーによる



ウニ種苗生産施設を視察

①エゾバフンウニ
広尾漁業協同組合が運営するウニ種苗生産施設では、年間150万粒の生産を行い、1年ほど育成し10mm程度で放流している。

取り組み状況

本町の基幹産業である漁業において、増養殖事業は水産資源の安定供給と資源拡大に大きな役割を担っている。
ウニ種苗生産施設、さけますふ化場、魚類飼育試験施設を視察調査した。

る潜水調査の実施や漁業部会を中心とした密漁巡回監視などの資源保護活動を行っている。
②サケ
広尾町さけます増殖振興協会が運営するさけますふ化場では、町内河川で捕獲される親魚からの地場卵を最大限活用しているが、不足する場合は他地区河川からの移入卵により安定した放流数(平成29年は1980万尾)になるよう努めている。また、十勝釧路管内さけます増殖事業協会を中心に飼育用水の確保に努

めており、飼育環境を整えバランスのとれた来遊資源づくりを進めている。平成28年、29年と台風の影響により水揚げが激減したが、北海道から出された今年の来遊予想では、「道東海域で昨年の2倍」となっており、水揚げが期待される。
③マツカワ
4町(広尾町、大樹町、豊頃町、浦幌町)3単協(広尾漁協、大樹漁協、大津漁協)で組織されている十勝管内栽培漁業推進協議会と連携し、北海道栽培漁業振興公社が採苗した5万匹(6cm)の種苗を購入。旧水族館の魚類飼育試験施設を中心に8cmになるまで中間育成を行い、十勝沿岸の各町に放流している。
ここ数年、放流効果が徐々に表れ、平成29年の十勝管内水揚量は過去最高の16・9トンとなった。

このほか、エゾバイツブ、コンブなどの増養殖事業にも取り組んでいる。

議会はどなたでも傍聴できます！ぜひ一度、町議会を見に来ませんか？

議会には、「定例会」と「臨時会」があり、定例会は3月、6月、9月、12月の年4回開かれ、臨時会は急いで決めなければならないことがあるときに開かれます。

手続きは簡単です。役場3階の議場へお越しください。

※団体で傍聴を希望する方は、あらかじめ議会事務局にご連絡ください。

【インターネット中継 実施中】

広尾町のホームページから議会の生中継、録画中継をご覧ください。

トップページ →  広尾町議会 をクリック！

見た！
聞いた！



ひろお

常任委員会

次回の定例会は
12月4日(火)に開会の予定だよ。



議会活動日誌

平成30年9月～11月

【9月】

- 3日 第7回議会運営委員会
- 6日 第3回広尾町議会定例会（～14日）
- 8日 市街地区敬老会
- 9日 福祉まつり
- 11日 第6回国保病院のあり方に関する調査特別委員会
第5回議員協議会
- 13日 第8回議会運営委員会
- 14日 議会広報編集会議
- 18日 特養・老人ホーム・生活支援ハウス合同敬老会
- 20日 広尾町150年記念式典（開町記念式典）

【10月】

- 13日 陸上自衛隊第4普通科第2中隊と広尾町自衛隊協力会との親睦パークゴルフ大会
- 23日 第6回議員協議会
新帯広厚生病院内覧会（帯広市）
- 24日 総務常任委員会行政視察（～26日・長万部町、恵庭市、北広島市）
- 27日 サンタランドツリー点灯式
- 29日 産業常任委員会行政視察（～31日・北見市、津別町、厚岸町、釧路町）
- 30日 高齢者スポーツ大会

【11月】

- 6日 十勝町村議会議長会議員研修会（芽室町）
JR根室本線の路線維持を！北海道の鉄道存続と再生を考える十勝の集い in 帯広（帯広市）
- 7日 長崎県西海市議会議長ご一行 来町（～8日）
- 9日 議会広報編集会議
- 11日 東京広尾会（10日～・東京都）

- 15日 第5回議会広報特別委員会
- 16日 老人クラブ連合会創立50周年記念式典
- 17日 参議院議員 橋本聖子を囲む会（幕別町）
- 19日 第3回広尾町議会臨時会
第7回国保病院のあり方に関する調査特別委員会
自民党北海道第11選挙区支部「政経セミナー」(幕別町)
- 20日 十勝町村議会議長会議臨時会（東京都）
- 21日 町村議会議長全国大会（東京都）
- 22日 北海道日本ハムファイターズ応援大使 来町
北海道議会議員 池本柳次後援会道政報告会
- 24日 衆議院議員 石川香織政経セミナー（帯広市）
- 28日 第9回議会運営委員会
- 29日 広尾町議会議員等研修会（議会の役割と議会改革など）
- 30日 とかち広域消防事務組合議会定例会（帯広市）
十勝圏複合事務組合議会定例会（帯広市）

閉会中の所管事務調査

各常任委員会と議会運営委員会は、平成30年第4回定例会までの閉会中に、次の所管事務調査を実施します。

◇総務常任委員会

- ①ごみ処理施設の運営状況について
- ②コミュニティ・スクールの導入状況について

◇産業常任委員会

- ①林産加工等の現状について
- ②栽培漁業と水産物加工の取り組みについて

◇議会運営委員会

- ①議会の運営に関する事項について
- ②議会の基本条例、会議規則等に関する事項について
- ③議長の諮問に関する事項について

ぎがイトピックス

8 / 22 住民に読まれ伝わる議会広報とは

北海道町村議会議長会による「議会広報研修会」が札幌市で開かれ、広報特別委員3人が参加しました。

実際に発行されている議会広報を例に、具体的な編集方法について広報コンサルタント 芳野政明氏による講演が行われました。

今回の研修で学んだことを活かし、今後もよりわかりやすく伝わる議会だよりを目指します。



11 / 6 十勝町村議会議員研修会に参加

十勝町村議会議長会による「議員研修会」が芽室町で開かれ、議員10人が参加しました。

この研修会は毎年11月頃に開催されており、今後の議員活動に役立てることを目的に毎年参加しています。

今年は「今後の行財政運営の課題」と題し、北海道総合政策部地域振興局 羽田 翔市町村課長による講演が行われました。

